

## サークルや部活動への所属は57.2%、アルバイトは63.8%

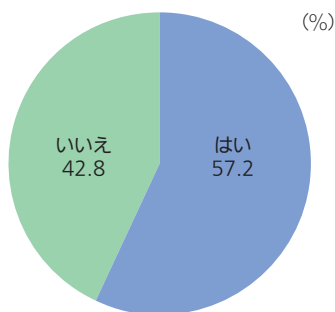
サークルや部活動に所属している割合は57.2%、1週間あたりの平均活動時間は4.8時間である。一方、アルバイトをしている割合は63.8%で、2008年調査の63.7%からほとんど増減はなく、平均活動時間は10.2時間となっている。



- あなたのサークルや部活動、アルバイトの状況についてあてはまるもの1つをお選びください。
- ふだんの時間の過ごし方について、次の項目は1週間(月曜日～日曜日)で何時間くらいになりますか。今学期の平均的な1週間を振り返って、それぞれについてあてはまるもの1つをお選びください。

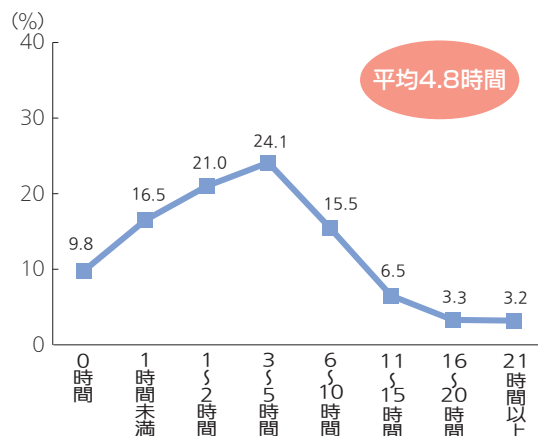
図15 サークルや部活動への参加状況(全体)

「サークルや部活動に所属している」



注) サンプル数は4,911名。

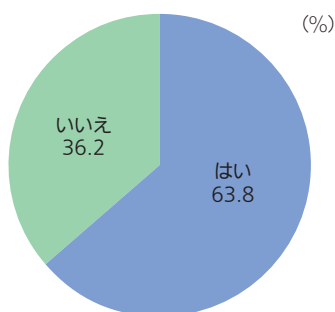
図16 サークルや部活動の1週間あたりの活動時間



注1) 対象は、「サークルや部活動に所属している」に「はい」と回答した2,810名。  
 注2) 平均時間は、「0時間」を0、「1時間未満」を0.5、「1～2時間」を1.5…と各選択肢の中央値に置き換えた上で算出している(不明は除く)。  
 注3) 「不明」は省略している。

図17 アルバイトの就労有無(全体)

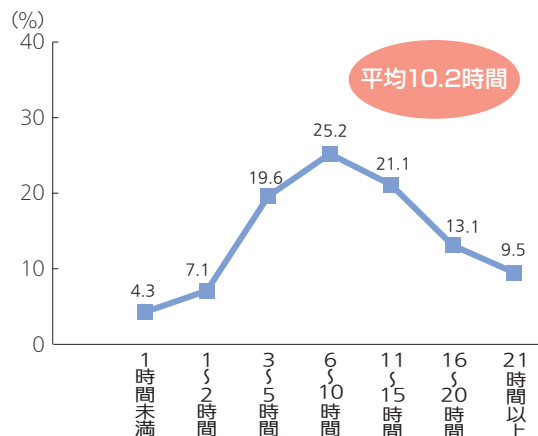
「アルバイトをしている」



2008年調査  
 はい→63.7%  
 いいえ→36.3%

注) サンプル数は4,911名。

図18 アルバイトの1週間あたりの活動時間

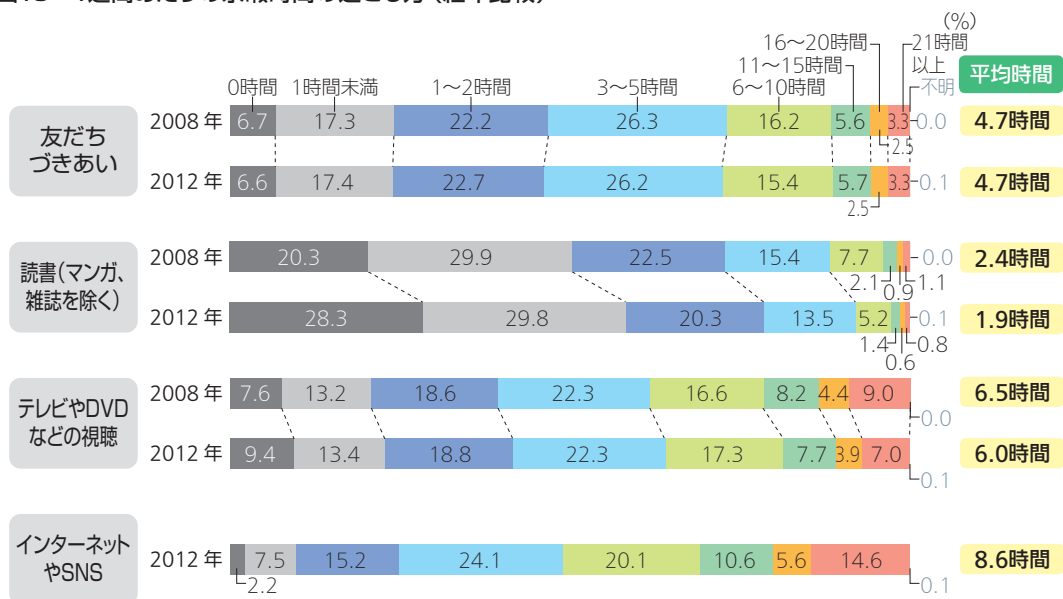


注1) 対象は、「アルバイトをしている」に「はい」と回答した3,135名。  
 注2) 平均時間は、「0時間」を0、「1時間未満」を0.5、「1～2時間」を1.5…と各選択肢の中央値に置き換えた上で算出している(不明は除く)。  
 注3) 「不明」は省略している。

## 読書をしない大学生が増加

学習やサークル・アルバイト以外の時間の過ごし方について、経年で比較をすると、「読書(マンガ、雑誌を除く)」が1週間で「0時間」との回答が2008年の20.3%から2012年は28.3%と8.0ポイント増加した。「友だちづきあい」や「テレビやDVDなどの視聴」は経年での変化はほとんどみられない。「テレビやDVDなどの視聴」と「インターネットやSNS」の平均時間はそれぞれ6.0時間、8.6時間と「インターネットやSNS」の方が長い。ただし、本調査がインターネット調査であるので、その影響にも留意する必要がある。

図19 1週間あたりの余暇時間の過ごし方(経年比較)

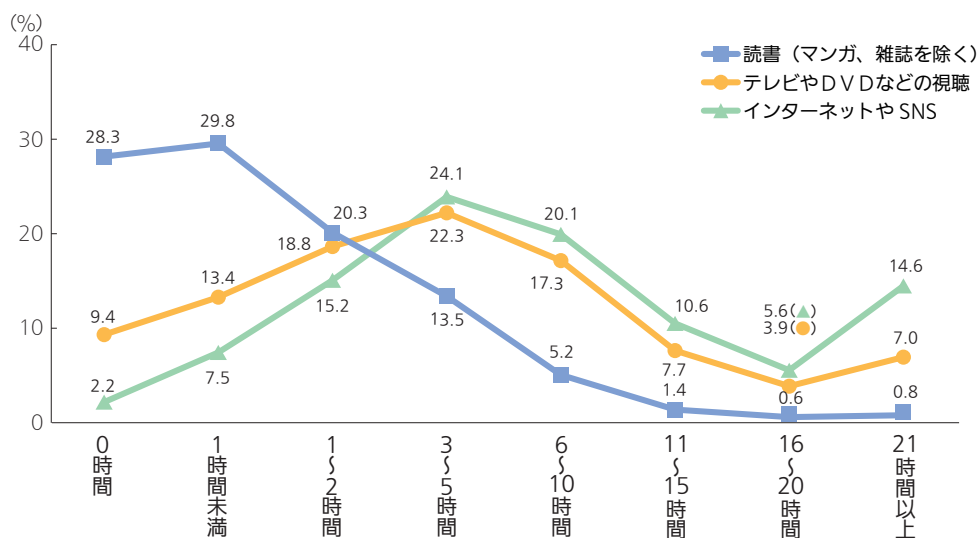


注1)「インターネットやSNS」は2008年調査ではたずねていない。

注2)平均時間は、「0時間」を0、「1時間未満」を0.5、「1~2時間」を1.5...と各選択肢の中央値に置き換えた上で算出している(不明は除く)。

注3)サンプル数は2008年4,070名、2012年4,911名。

図20 「読書」「テレビ・DVD」「インターネット・SNS」の時間の比較



注1)「不明」は省略している。

注2)サンプル数は4,911名。